

GCSインターネット系
ADサーバー・ファイルサーバー調達仕様書

国家公務員共済組合連合会 九段坂病院

目 次

1 概要.....	1
1.1 目的	1
1.2 契約期間.....	1
1.3 調達の範囲及び基本方針	1
2. 機能要件	2
2.1 ハードウェア	2
2.2 仮想サーバー	3
3. 構築作業要件.....	5
3.1 搬入・設置作業.....	5
3.2 構築業務.....	5
4. 運用保守要件.....	6
4.1 運用SEサポート要件	6
4.2 ハードウェア保守要件	6
4.3 ソフトウェア保守要件.....	6
5. その他	7
6. 支払い.....	7

1 概要

1.1 目的

九段坂病院(以下「当院」という)のADサーバーおよびファイルサーバーの機器およびOS更新を行う。

1.2 契約期間

ADサーバー・ファイルサーバーの稼働から7年間。
保守対象の範囲は物理サーバー、仮想サーバー、OSとする。

1.3 調達の範囲及び基本方針

(1) 調達の範囲

具体的な対象範囲は以下とする。

- ① 物理サーバーのリプレースに伴う設置作業およびネットワーク設定
- ② 既存仮想ADサーバー、仮想ファイルサーバーの移行作業
(仮想勤怠管理システムサーバーは移行対象外)
- ③ サポート問合せ対応、ハードウェア保守

(2)基本方針

- ① 物理サーバーのリプレースに伴う設置作業およびネットワーク設定
物理サーバー(仮想基盤ホスト1台)のリプレースに伴うサーバー設置作業とネットワーク設定を行う。
- ② 既存仮想ADサーバー、仮想ファイルサーバーの移行作業
既存仮想ADサーバー、仮想ファイルサーバー(Windows Server 2012R2)の各種機能および設定項目を新仮想サーバー(Windows Server 2025 Standard)に移行する。移行方法はマイグレーションまたは新規構築のどちらでもよいが、選定理由について明記すること。
- ③ ハードウェア保守、問合せ対応
サーバー保守および問合せ対応をサービス導入後から7年間提供すること。

2. 機能要件

2.1 ハードウェア

ハードウェアの調達要件は、以下のとおりとする。

基本事項

- ・ 24時間365日稼働可能な環境であること。
- ・ 調達する機器は、原則7年以上利用可能な機器を選定すること。
- ・ 後述する仮想サーバー2台が動作するスペックを満たすこと。

① 物理サーバー(仮想基盤ホスト 1台)

No	項目	備考
1	筐体	・1U以下であること。 ・19インチサーバーラックへの搭載可能なラックマウント型であること。
2	OS	・Windows Server 2025 Standard
3	CPU	・第3世代インテル® Xeon® スケーラブルプロセッサ相当以上とし1基以上実装すること。
4	メインメモリ	・32GB 以上を搭載すること。
5	ストレージ	・3TB 以上(稼働後の業務に必要なデータが格納できる十分な容量)を確保すること。 ・ホットプラグ、ホットスワップに対応していること ・RAID1、RAID5、RAID6のいずれかに対応していること。
6	LANインターフェース	・2ポート以上搭載していること・1000BASE-T以上であること
7	電源ユニット	・冗長構成とし、ホットプラグ対応していること。
8	運用・保守	・7年保守対応とする
9	その他	・物理サーバーラック搭載、Hyper-V設定、2ゲストOS構築作業を行うこと。 ・既存物理サーバーと同等のネットワーク設定(院内ネットワーク、KKR本部ネットワークへ接続可)を行うこと。 ・当院にて用意するウイルス対策ソフトをインストールすること。

② 無停電電源装置(1台)

No	項目	備考
1	筐体	・1Uであること ・19インチラックへの搭載可能であること。
2	機能	・定格出力電圧:100Vであること。 ・定格出力容量:750VA以上であること。
3	その他	・PowerChute Network Shutdownに対応していること

		と。 ・物理サーバー1台に電源供給すること。 ・無停電電源装置(UPS)は、物理サーバー1台を接続した状態でバッテリー駆動時に10分以上の電源供給が可能であることが望ましい。 ・UPSの保持時間は、導入機器の消費電力を想定して適切に選定すること。
--	--	--

2.2 仮想サーバー

仮想サーバーの要件は、以下のとおりとする。

基本事項

- ・ 既存ADサーバーの各種設定項目、ファイルサーバーの各フォルダの設定項目とファイル移行をすること。
- ・ Windows Server 2012からWindows Server 2025への移行はマイグレーションまたは新規構築のどちらで対応すること。

① Active Directoryサーバー(仮想サーバー 1台)

項目	備考
OS	・Windows Server 2025 Standard
CPU	・第3世代インテル® Xeon® スケーラブルプロセッサ相当以上とし1基以上実装すること。
メインメモリ	・8GB 以上を搭載すること。
ストレージ	・Cドライブ 200GB 以上を搭載すること。
その他	・院内ネットワーク、KKR本部ネットワークへの接続設定を行うこと。 ・当院にて用意するウイルス対策ソフトをインストールすること。 ・既存ADサーバー(Windows Server 2012R2)の機能移行すること。

② ファイルサーバー(仮想サーバー 1台)

項目	備考
OS	・Windows Server 2025 Standard
CPU	・第3世代インテル® Xeon® スケーラブルプロセッサ相当以上とし1基以上実装すること。
メインメモリ	・16GB 以上を搭載すること。
ストレージ	・Cドライブ 200GB以上を搭載すること。 ・Dドライブ 1TB以上を搭載すること。 ・Dドライブは将来の容量拡張に対応可能であること。
その他	・院内ネットワーク、KKR本部ネットワークへの接続設定を行うこと。 ・当院にて用意するウイルス対策ソフトをインストールすること。← ・既存ファイルサーバー(Windows Server 2012R2)の機能移行す

	ること。Windows Server 2025 Standardで機能が無くなっているものについて、代わりとなる機能で代替できればよいものとするが互換性の有無を事前に確認し報告すること。 ・ファイルサーバーに設定されているユーザ、共有フォルダ等の移行すること。合わせて既存ファイルの移行も行うこと。 ・ファイルサーバーのディスク容量は1TB以上とすること。
--	--

3. 構築作業要件

3.1 搬入・設置作業

- (1) 調達機器を搬入し、既設ラックに設置および配線すること。
物理サーバーおよびUPSは以下ラックのユニットに設置すること。
なお、サーバーラック内には院内SWとLAN接続されているLANケーブルが敷設済みのためそれを使用すること。

- ・ラック名
R-3-部門
- ・ユニット
38U 物理サーバー
13U UPS

- (2) 各ケーブルの末端にはラベリングを施すこと。
(3) 本システム用の機器とわかるよう、機器前面にラベルを貼ること。

3.2 構築業務

3.2.1 各サーバー等の構築要件

- (1) 共通事項
- ・ OSおよび必要なソフトウェアのインストールおよび設定をすること。
 - ・ 最新のWindows Server 2025 StandardのOS更新プログラム・セキュリティパッチを適用した状態で納品すること。
 - ・ イベントビューアでアクセスログが残る設定を施すこと。ログは7年間保存、分析できるようにすること。
 - ・ 当院が用意したウイルス対策ソフトをインストール、最新のパターンファイルを適用できる状態にすること。
 - ・ 既存物理サーバーと同等のネットワーク設定(院内ネットワーク、KKR本部ネットワークへ接続可)を行うこと。
 - ・ 移行に基づくシステムの停止期間は、当院とスケジュールを検討し、業務への影響を最小限にとどめること。
- (2) Active Directoryサーバー
- ・ 既存のActive Directory、グループポリシー等を移行すること。
 - ・ 現状の設定環境を踏まえ、クライアントの設定変更が発生する場合は合わせて実施すること。
- (3) ファイルサーバー
- ・ ファイルサーバーのデータはアクセス権および共有設定を含め、既存ファイルサーバーから移行すること
 - ・ クォーター設定を移行すること。ファイル共有するディスク容量は1TB以上に拡張すること。

4. 運用保守要件

4.1 運用SEサポート要件

障害発生時のサポート対応については、原則として以下の体制を基本とするが、対応はベストエフォートとし、即時の回復や対応を保証するものではない。

なお、障害の重要度や発生時間帯等を踏まえ、可能な限り迅速な対応を行うこと。

- (1) 障害電話受付は平日9時から18時まで提供すること。平日時間外および休日は緊急連絡先への連絡とすること。
- (2) 電子メールは24時間受付可能な状態であること。
- (3) 障害受付を行ってから原則2時間以内に初動対応を開始するものとする。ただし、平日時間外および休日に受け付けた障害については、翌平日9時に受け付けたものとする。
- (4) 障害受付から6時間以内に障害回復が見込めないと判断した場合、直ちに情報システム課に作業状況と見通しについて説明すること。

4.2 ハードウェア保守要件

- (1) 機器の修理受付は平日9時から19時まで受付可能すること。
- (2) 全ての機器はオンサイト保守とすること。

4.3 ソフトウェア保守要件

- (1) 新たなセキュリティ上の脅威や脆弱性が発見された場合には、可能な範囲で情報提供および対応方法の提案を行うこと。
ただし、これらの対応はベストエフォートとし、すべての脅威への対応やパッチ提供を保証するものではないことを、あらかじめ了承いただきたい。

5. その他

(1) 納品物

検収時には全ての機能に関し、以下のドキュメントを電子ファイルで速やかに提出すること。

項目	備考
基本設計書	システム構成はシステム構成図、ネットワーク構成、ディスク構成等を記載すること。
ユーザID・パスワード管理表	OSにログインするユーザID、パスワードを記載すること。 ※部外者が容易に閲覧できないよう、電子ファイルにパスワードを適用すること。
機器管理表	機器名称、メーカー、型番、シリアルナンバー等を記載する。メーカーサイトにサーバーおよび無停電電源装置の取扱説明書がある場合は合わせて電子ファイルで納品すること。
運用保守連絡体制図	受付窓口の情報を記載する。人事異動及び組織改正などで変更が生じた場合は、速やかに電子ファイルを提出すること。
運用手順書	リモートデスクトップ接続の手順、保守サポート時に必要となるログの取得手順、仮想基盤サーバー、仮想ADサーバー、仮想ファイルサーバーへの更新プログラム適用の手順等について記載する。
計画停電時の作業手順書	3年毎に行われる計画停電時の対応手順(サーバー電源断から再立ち上げまでの手順)を記載する。

6. 支払い

支払いについては完納した月の月末締め翌月25日払いとする。25日が土日祝日の場合、翌日営業日に支払いをする。ただし、請求書は翌月4営業日までに施設用度課へ提出すること。(PDFもしくは郵送)